

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会の評価報告書

鳥取県地域づくり推進部指定管理候補者審査・指定管理施設運営評価委員会（以下「審査・運営評価委員会」という。）として、次のとおり指定管理者による鳥取県営東山水泳場の管理運営状況を評価した。

1 対象施設

鳥取県営東山水泳場

2 指定管理者

一般財団法人鳥取県水泳連盟・公益財団法人鳥取県スポーツ協会共同事業体

3 指定管理期間

平成29年4月1日から令和4年3月31日まで

4 審査・運営評価委員会

(1) 開催日 令和3年9月11日

(2) 開催場所 鳥取県営東山水泳場

(3) 審査・運営評価委員

氏名	所属等
黒田 多美子（委員長）	倉吉市スポーツ推進委員協議会 会長
酒井 嘉一（副委員長）	税理士
景山 かず子	鳥取県障がい者水泳協会 理事
明場 達朗	鳥取県地域づくり推進部スポーツ振興局スポーツ課 課長

(4) 評価方法

平成29年度から令和2年度分の指定管理者から提出された事業報告及び各年度の県による評価結果等に基づき、各委員が以下の審査項目ごとに評価を行った。

評価は、「2、1、0、△1、△2」の5段階で行い、4人の委員の平均で決定した。

審査項目	主な審査内容
施設設備の維持管理等	<ul style="list-style-type: none">施設設備の保守管理・修繕施設の保安警備、清掃等事故の防止策、緊急時の対応
利用者サービス	<ul style="list-style-type: none">開館時間、休館日、利用料金等利用者へのサービス提供・向上策、施設の利用促進個人情報保護、情報公開利用者意見の把握・対応
収支の状況	<ul style="list-style-type: none">利用料金の徴収、減免の状況管理運営にかかる収支状況
管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none">職員の配置会計事務の状況法令等の遵守

【評価指標】

2：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、特に優れた管理運営がなされている。

- 1：協定書の内容を上回るレベルで実施されており、優れた管理運営がなされている。
 0：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
 △1：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。
 △2：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。

(5) 評価結果

ア 評価点数

指定管理者による鳥取県営東山水泳場の管理運営状況の評価は「1」と決定した。

審査項目	評価点数 (各委員の平均)
施設設備の維持管理等	0.75
利用者サービス	0.75
収支の状況	0.25
管理運営の状況	0.75
総括	0.625

(注) 総括の評価は0.625となり、委員協議の結果、5段階のうち「1」と決定。

イ 審査・運営評価委員からの主な意見

(施設設備の維持管理等)

- ・玄関には利用者が生けた季節の花があり、気持ちの良い空間。
- ・施設内は明るく清潔で、トイレの清掃も行き届いている。
- ・毎週園児が利用する小さなプールも完備され、休憩する場所も安全が考えられている。
- ・建物敷地内の植木、屋外プール外回りの除草の手入れが行き届き、しっかり管理されている様子が伺えた。
- ・障がい者専用駐車場、プール用車椅子、障がい者用トイレ、男女問わず利用可能な更衣室設置、バリアフリーなど、障がい者に対する意識が高く、配慮されている。
- ・入口受付での新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、スタッフによる更衣室・トイレ巡回にて衛生・安全管理に気を配り、水泳用具の消毒なども行き届いていた。
- ・室内プール移動式水中階段のサイドにネットを貼り、安全対策が行われていた。
- ・屋根付き障がい者用駐車場への誘導看板が駐車場入口付近に必要。
- ・更衣室内の掃除用具のドア下部分の剥がれを修理した方がいい。
- ・老朽化が進んでいるため、施設整備の保守点検など強化してほしい。
- ・施設管理に気を配っている。危険な箇所に対する修繕の必要性の意識を有している。

(利用者サービス)

- ・高齢者が笑顔でウォーキングを楽しんでいた。
- ・利用者にマナーを守るよう啓発することで、さらに気持ちよく利用できると感じた。
- ・スタッフの利用者に対する対応が親切でとても良い。
- ・利用者アンケートの対応など継続してほしい。
- ・更衣室での利用者同士の会話が多く、新型コロナウイルス感染症対策のためにも、シャワー以外はマスク着用を徹底してほしい。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響か、団体使用数が大きく減少する一方、水泳教室・飛込教室の利用者数は令和2年度に大きく増加しており、PRや勧誘努力が評価できる。
- ・自主事業等で集客するなど工夫している。

(収支の状況)

- ・収支差額が年々減少しているが、今までの留保と自助努力により、マイナスにならないよう努めるとのこと。
- ・ガス代を節約するために、水面に温水シートをきっちりと張り、水温を下げないようにするなど努力している。
- ・収入・支出とも比較的安定しているが、令和2年度は赤字決算となっており、今後経費削減とコスト削減を図るなどの努力に期待したい。

(管理運営の状況)

- ・標準的な管理運営がなされている。
- ・書類上の不備が散見された。

(その他)

- ・地域の皆さんの健康のため、より技術の向上を目指す人々のためへの、今後の取組が楽しみ。